

“隣組”ってなんですか？ ～助けられたり助けたり～



平成28年

7.23 (土) ▶ 9.4 (日)

会場：昭和館3階 特別企画展会場

開館時間：10:00 ▶ 17:30 (入館は17:00まで)

休館日：毎週月曜日(8月15日は開館)

国民歌謡「隣組」の
歌詞が刷られた湯呑

回覧板の通知
昭和15年(1940)10月
藤本四八(JPS)撮影



隣組回覧板



URL <http://www.showakan.go.jp>

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575

●7・6階には常設展示室(高校生以上有料)があります。●団体予約承ります。

電車ご利用の場合

地下鉄 九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線出口4) JR 飯田橋駅から徒歩約10分

車をご利用の場合

首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点) 有料駐車場有(30分200円・普通乗用車のみ)



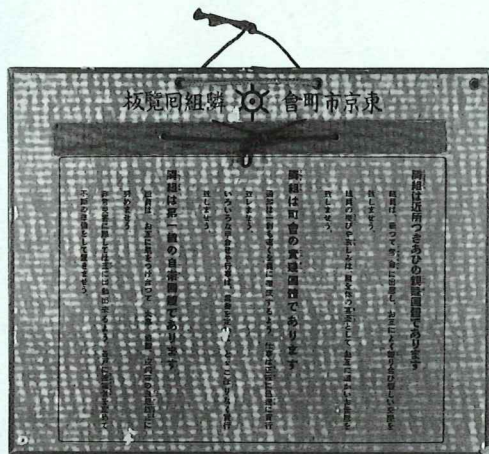
“^{となり}隣組^{ぐみ}”ってなんですか？ ～助けられたり助けたり～

ごあいさつ

このたび昭和館では「^{となり}隣組^{ぐみ}」ってなんですか？～助けられたり助けたり～と題して、特別企画展を開催することとなりました。

昭和15年(1940)9月、内務省により町内会・部落会の整備拡充がはかれるとともに、その下位組織として隣組(隣保班)が組織化されました。隣組は行政の指示により、配給切符の割当や防空活動、資源回収などといった活動を行い、定期的に「常会」が開かれ組内の意思疎通の機会を設けるなど、戦時体制下での国民生活の基盤となる活動を行っていました。

一方で、隣組は組員同士の監視、思想の統制などといった、ひとりひとりの生活を窮屈に感じさせる側面も併せもっていました。本展では、実物資料、音響資料などを通して、戦時下の隣組の活動を紹介します。



東京市町会隣組回覧板
昭和15年(1940)～18年頃



築地2丁目2番町の隣組常会
昭和15年(1940)10月 藤本四八(JPS)撮影



ポスター「国債貯金」
昭和18年(1943)頃

イベント情報

(1)「隣組すごろく」を作ろう!(小・中学生対象)

展示解説参加後、展示資料の写真カードを使って各自オリジナルの「隣組すごろく」を作成します。

(※1 本イベントは14:00からの展示解説参加が条件となります)

(※2 展示資料の写真カードは当館で用意いたします)

期日：平成28年8月7日(日) 14:00～16:00

(展示解説は14:00から、すごろく作成は15:00からを予定)

会場：昭和館3階 特別企画展会場および会議室

定員：10名(事前予約制)

(2)展示解説

担当者による、展示解説を行います。

期日：平成28年8月7日(日)・28日(日)

14:00～(所要時間 約45分)

会場：昭和館3階 特別企画展会場

